

平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年8月7日

上場会社名 図研エルミック株式会社
 コード番号 4770 URL <http://www.elwsc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 尉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 江口 慎一
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 045-624-8111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	171	33.2	12		12		13	
29年3月期第1四半期	128	30.6	69		70		71	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	2.18	
29年3月期第1四半期	11.36	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	772	538	69.8	85.74
29年3月期	785	552	70.4	87.92

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 538百万円 29年3月期 552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,000	13.1	35	155.7	35	168.3	24		3.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	6,284,944 株	29年3月期	6,284,944 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	160 株	29年3月期	160 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	6,284,784 株	29年3月期1Q	6,284,795 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期損益計算書関係)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の景況感の回復に広がりが見られるとともに都市部の再開発に起因する国内の建設・設備需要や、アジアからのインフラ関連の需要の高まりに支えられ、概ね堅調に推移いたしました。

当社が属する情報通信・エレクトロニクス業界におきましては、次世代通信と見込まれる5G向けシステム開発投資や、スマートフォン高機能化に伴う半導体製造装置の設備投資の増加傾向が続き、業況は回復基調が継続いたしました。

このような事業環境の中で当社は、通信ミドルウェア事業の単一セグメントでの事業形態として、この事業に経営資源を集中的に投下して経営基盤の強化に努めております。その中でもIPセキュリティ分野においては、監視カメラ/ネットワークカメラ向けの当社ミドルウェアの評価は高く、既存のお客様からの需要はもちろんのこと、今後の「モノのインターネット」であるIoT (Internet of Things) の普及を見据えネットワークカメラに新規参入をするお客様も数多いため、これらの新たな需要に応えるべくパッケージ化した製品やサービスの開発・開拓に力を注いでまいりました。

販売面では、6月7日から開催されたスマートファクトリーJapan展示会において、監視カメラネットワークとFAシステムを連携させて工場の生産性向上に役立つアプリケーションパッケージ「チョコ停Finder」を出品し、多くのお客様に注目いただく等積極的な販売活動を行った結果、当第1四半期累計期間の売上高は、1億71百万円(前年同四半期比33.2%増加)となりました。また損益面では、営業損失は12百万円(前年同四半期は営業損失69百万円)、経常損失は12百万円(前年同四半期は経常損失70百万円)、四半期純損失は13百万円(前年同四半期は四半期純損失71百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、7億72百万円となり、前事業年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加1億5百万円、前払費用の増加30百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少1億57百万円等によるものであります。

負債の部は、2億33百万円となり、前事業年度末に比べ0百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金の減少18百万円、買掛金の減少10百万円があったものの、前受収益の増加28百万円等によるものであります。

純資産の部は、5億38百万円となり、前事業年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは、利益剰余金の減少13百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月8日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	290,257	396,149
受取手形及び売掛金	355,371	197,970
商品及び製品	6,782	16,240
仕掛品	14,071	17,054
原材料	1,070	1,047
前払費用	38,796	68,829
その他	9,931	5,085
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	716,182	702,277
固定資産		
有形固定資産	12,100	11,347
無形固定資産	20,492	29,231
投資その他の資産		
投資有価証券	3,500	3,500
長期前払費用	29,697	22,413
その他	5,249	5,199
貸倒引当金	△1,850	△1,850
投資その他の資産合計	36,597	29,262
固定資産合計	69,190	69,842
資産合計	785,373	772,119

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,642	38,051
未払法人税等	3,181	3,237
前受収益	60,233	88,623
賞与引当金	34,578	16,525
製品保証引当金	9,047	8,842
その他	25,372	36,981
流動負債合計	181,056	192,261
固定負債		
長期前受収益	41,497	31,076
退職給付引当金	2,729	2,729
その他	7,526	7,211
固定負債合計	51,753	41,017
負債合計	232,809	233,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	135,998	135,998
利益剰余金	△83,343	△97,067
自己株式	△91	△91
株主資本合計	552,563	538,839
純資産合計	552,563	538,839
負債純資産合計	785,373	772,119

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）
売上高	※ 128,813	※ 171,593
売上原価	65,179	82,292
売上総利益	63,634	89,300
販売費及び一般管理費	133,453	102,059
営業損失（△）	△69,819	△12,758
営業外収益		
受取利息	0	0
受取手数料	27	88
その他	2	2
営業外収益合計	30	90
営業外費用		
支払利息	19	14
為替差損	627	10
営業外費用合計	646	24
経常損失（△）	△70,435	△12,693
特別損失		
固定資産除却損	—	58
特別損失合計	—	58
税引前四半期純損失（△）	△70,435	△12,751
法人税、住民税及び事業税	984	984
法人税等調整額	△13	△12
法人税等合計	971	972
四半期純損失（△）	△71,406	△13,724

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

※ 売上高の季節的変動

前第1四半期累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

当社の売上高は、通常の営業形態として、第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間に完了する業務の割合が多いため、四半期会計期間毎の売上高に季節的変動があります。

当第1四半期累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

当社では、製品の出荷やお客様の検収が9月及び3月に集中することから、第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間の売上高及び営業利益の割合が高くなる傾向があり、四半期会計期間毎の業績に季節的変動があります。